

## 第2回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議 議事録

### 【要 旨】

開催日時 平成27年12月3日(木) 午後6時30分から午後8時10分

開催場所 小樽市保健所3階講堂

出席状況 ○委員

小笠原副会長(中小企業同友会)、鹿角会長(小樽青年会議所)  
釜野委員(小樽市高齢者懇談会「杜のつどい」、近藤委員(小樽市医師会)  
佐藤委員(小樽薬剤師会)、佐藤委員(小樽市民間保育協議会)  
多田委員(おたるストックウォーキングの会)、津崎委員(コープくらしの助け合いの会)  
永森委員(小樽理容組合)、福丸委員(小樽友の会)

以上10名

○小樽市

保健所 中村主幹、山谷主幹、健康増進課 宇田川課長  
藤川主査、木村主査、鎌田主査、山本主査、須摩主査、菊地主査

以上 9名

○欠席委員

近藤委員(小樽美容協会)、柴田副会長(小樽市食品衛生協会)  
渋谷委員(小樽市歯科医師会)、嶋田委員(小樽食生活改善協議会)  
須田委員(坂の街出版企画)、新川委員(小樽総連合町会)  
西岡委員(小樽健康づくりウォーキングサポーターの会)  
林委員(小樽私立幼稚園連合会)、武藤委員(商店街振興組合連合会)

### 会議要旨

- 1 開会
- 2 報告

#### (1) 第1回小樽市健康増進計画評価会議について

事務局： 11月12日午後6時半より第1回小樽市健康増進計画評価会議が開催されました。評価会議は、前回の会議でも御説明したとおり10名の委員から構成される第2次健康おたる21の進捗状況を把握し、計画の評価を行う機関です。会議の中では、9月1日に開催した「第1回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」の会議内容について御報告し、「第2次健康おたる21」の関連事業18施策の取組、進捗状況について御意見をいただきましたので、いくつか御紹介します。

- 健康寿命の延伸、特に最期まで口から食べられる幸せ、メリットを大切に考えている。平均寿命と一緒に健康寿命という視点でも、小樽市の現状をみてほしい。
- 小樽市は精神疾患による医療費が高い傾向にあることから、今後精神保健対策が必要ではないか。
- がん検診受診率の実績と目標値が大きく乖離しており、目標値の修正若しくは実施内容の

見直しが必要。受診勧奨の方法や回数、文面などを工夫し、周知活動や未受診者対策をもっと丁寧に行うべきではないか。

などの御意見をいただきました。

次回の評価会議は、来年2月に開催予定となっております。

会長： 以上は、評価会議の報告ということですから、次の報告事項について事務局よりお願いします。

(2) 小樽市のこれまでの健康づくりの取組と進捗状況について

事務局： 「第2次健康おたる21」の計画が平成25年度から始まり、今年で3年目になります。計画の進捗管理と評価を客観的に行えるよう、分野ごとに重要項目の目標を定め、目標値を設定しています。本日お配りしております関連事業経過シートを用いて18施策の今までの取組と今年度の事業計画を各施策担当者から御説明させていただきます。

会長： ただいま御説明のあった18施策について、何か御意見、御質問等ありますか。

◆「ヘルシーメニュー事業」「栄養成分表示の店推進」についての質疑応答

質問1： ヘルシーメニュー事業の登録店がとても少ないと思いますが、登録についてのどのような働きかけをしているのかということと、そのお店が登録店であることや登録メニューを利用したということが、市民にわかるように表示等がされているのかを知りたいです。

お店側にとってはビジネスチャンスでもあると思うので、登録店側にもメリットがあるように支援をしてあげなければいけないと思います。同じように「栄養成分表示の店」についても同じことがいえると思います。

事務局： 働きかけとしては、飲食店へはちらし等で事業内容や登録についてのお知らせをし、問合せのあった飲食店とは個別に連絡は取っていますが、1件ずつ訪問するという事は、できていない状況です。表示については、登録した際には両事業ともにステッカーを交付していますので、登録店内に掲示されていると思いますし、市ホームページ、登録店のホームページには載っています。メニューへの表示等については、お店にお任せしているような状況ですので、今後は飲食店への丁寧な関わりやメニュー等への表示の仕方等についても、工夫してもらえよう支援が必要であると感じました。

質問2： どういう人が利用しているのですか。

事務局： 昨年状況ではありますが、登録店に「ヘルシーメニュー」の利用頻度について、確認をした所、「ヘルシーメニュー」を目的に食べに来ている人は少ないようでした。

発言1： まずは認知度を高める事が大切。第1にそのお店が「ヘルシーメニュー登録店」ということがわかること、第2にどのメニューが「ヘルシーメニュー」なのかということが一目でわかることが大切だと思います。

ホームページに載せていても興味がなければ検索しないので、フェイスブック等で一方的に発信していくという手法も必要です。今の時代は情報の作り方が大切だと思うので、まずは認知度を高める事が大切だと思います。

発言2： 登録件数を伸ばすには、自分たちの店だけでやってもだめではないかと思います。

「ヘルシーメニュー」は減塩だという周知もしていき、ここへ行ったら減塩のものが食べられ

るといふ PR も必要であると思ひます。

◆「地域連携によるがん検診の普及啓発推進」についての質疑応答

発言1： がん検診の受診率の低さに驚きました。いろいろな所でちらし等の配布はされているようですが、ちらしは読まなければ意味がないので、老人会や町内会等の団体が集まるような所で検診を実施できないでしょうか。あるいは、イベント的にやってみてはどうでしょうか。

質問1： がん検診の受診率は他都市と比べると小樽市は低い方なのでしょうか。

事務局： がん検診受診率については、北海道と比べると、胃がん検診、肺がん検診の受診率は低いですが、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診は同程度となっています。今までも、広報やホームページ、回覧板などで、がん検診について周知を行っていますが、なかなか受診率が上がらないので、別な仕組みづくりを考えていかなければいけないと感じています。

発言2： ポイント制にするとか検診カードを作って、全部たまったら何かをもらえるというようにして見てはどうですか。

発言3： 保健所で、いろいろがん検診の受診率を上げるために頑張っていますが、高齢者はすぐに医療機関にかかるし、若者は仕事が忙しくて検診に行かない。そういったことをクリアしないと検診受診率がなかなか上がってこないと思ひます。

質問2： この数字は会社に勤めている人の数値も入っていますか。国民健康保険加入者のみの数字でしょうか。市内全体の数字になるともう少し高い数値になるのでしょうか。

事務局： がん検診については、会社関係で受診されている方の人数は含まれていないので、それを含めると少しは数値が高くなると思ひれます。この受診率の中には、国民健康保険加入者と会社関係の被扶養者の方で、会社の制度でがん検診を受ける事ができない方が小樽市のがん検診の対象者となっています。

質問3： 特定健診はどうなっていますか。

事務局： 平成26年度の特定健診受診率は14.7%です。

◆「毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる」についての質疑応答

発言1： 最近、若い人と話をすると「何を作ったらいいのかわからない」という人がいます。若い人の生活力が低くなっているように感じます。働きながら子育てしている人も増えてきていますので、短い時間で作れるものなどそういった工程に着目してもいいと思ひます。

発言2： 最近では、お母さんもお父さんも食べない家庭というのが当たり前な家庭もありますね。

質問1： 朝食の欠食については小樽市だけの問題ではないと思ひますが、リーフレットは国から通知等で指導されているものを使用していますか、それとも小樽市独自のものですか。

事務局： リーフレットは国から通知されたものではなく、市販のリーフレットや独自で作成したリーフレットを対象者にあわせて使い分けています。

発言3： 朝食を食べていない人はどの程度いるのかなど、小樽市の特殊性があるのであればそれを考慮して対策を考えていくべきかと思ひます。

発言4： 朝食を食べているという人の中にも内容を確認すると、ケーキだけといった現状や、食事だけではなく生活全般でも驚くような生活習慣の人がいます。

事務局： 多様な価値観の方がいる中で、それぞれの方にどのように対応するのかという事はとても難

しい事かと思いますが、少しでも健康な生活へ導いていけるようにできればと考えています。

会長：生活スタイル自体を変えるということは難しいことかと思いますが、それぞれの生活スタイルに合わせた提案をしていくことも今後は必要になってくるのかもしれないね。

### 3 議事

会長：それでは、次の本日の議事に移ります。事務局より説明をお願いします。

(1) これからの小樽市の健康づくりの取組と展開について

事務局：第1回のネットワーク会議の中でいただいた御意見と第1回の評価会議の中でいただいた御意見がありますが、それらを踏まえて事務局で相談した結果、いくつか目標達成率が低い施策を委員の皆様のお力をお借りして普及啓発を行っていきたいと考えています。

具体的には、前回の会議で御提案のあった名刺を作って、委員の皆様に機会あるごとに周りの方々に配っていただくという案を進めたいと考えました。

名刺の表には、各委員のお名前とネットワーク会議の正式名称ではなく、親しみやすく興味を持っていただけるような名称案を考え、事務局の方で「おたる健康案内人」という名称を考えてみました。そして、皆様のお名前をいれてみてはと考えています。

裏には、普及啓発が急務である施策を何点かピックアップして、その下には正式名称や連絡先、URLなども載せていくという案を出させていただきたいのですが、委員の皆様の御意見ををお願いします。

質問1：どんな時に誰に渡したらいいのでしょうか。

事務局：御家族や同じ団体の方でもいいのですが、「こんな健康情報を知っていますか」と口伝えて広めていただき、その際にそっと差し出してみたり、はじめてお会いする方に名刺として渡していただいたり、いろいろな場面で使っていただけるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

会長：事務局案では、名刺は、一人何枚くらい配付する予定で考えていますか。

事務局：一人100枚くらいを考えています。

会長：一人100枚だと委員は19名いますので、単純に1,900枚配付される事になりますので、1,900人の方に知っていただくことができますね。使い方はそれぞれ委員の皆さんにお任せするという事でよろしいでしょうか。

発言1：「おたる健康案内人」という名称で活動するネットワークができましたという事ですね。そういう情報発信も大切かと思いますが、その事自体が知られていないと活動しにくいかと思いますが、ホームページ等できちんと周知すべきかと思いますが。

事務局：はい。健康教育等に出向く際にも、大いに宣伝していきたいと思います。

発言2：まずは、名刺の試作品を作って委員に送り、意見をもらってはどうでしょうか。

事務局：名刺試作案を作り、FAX等で委員の皆様の御意見をいただいて、次回2月に開催予定のネットワーク会議までには、ある程度、試作案として完成したものを御提示できるようにしたいと思います。

会長：レイアウト等の詳細は、事務局で考えていただくということでお願いします。それでは、その他、事務局や委員から何かありますか。

#### 4 その他

発言1： 全ての施策をするには限られた人員の中では限界があると思います。本日説明のありました18施策以外にも業務があるのですから、重点項目を決めてメリハリをつけて取組んでいくことが大切だと感じました。

事務局： 来年の第3回ネットワーク会議開催までに、中間評価アンケート案を郵送し、皆様の御意見をいただく予定ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 5 閉会